

1995年5月

国際捕鯨委員会第47回総会

南極海サンクチュアリの設置及び日本の調査捕鯨に関する声明

野生生物保全論研究会 会長小原秀雄

我々は南極近海のサンクチュアリー設置を基本的に支持する。現在の地球上における人間の自然環境の退行を防ぐために、できる限り手つかずの自然生態系の保全が必要である。

それゆえに科学の名における調査捕鯨は速やかにやめるべきだと考える。科学の調査は、本来対象の性質に則して行われるべきであり、大型の野生哺乳類の生態や行動、目的の対象とする個体群のありかたなどに対する調査では、対象の生命を奪うことがないのが一般的である。

したがって調査捕鯨継続及び対象地域の拡大などの要求は、別の目的と見られるのであって、日本のイメージの悪化を招く。その点でも日本人である我々は、捕殺による調査方法の変更を望むものである。

なお、全ての日本人及び日本の科学者が現在の捕鯨政策を支持していないことを宣明するため、このアピールを行なうこととした。